

## 第4回国立市中小企業等振興会議 要点記録

◇ 日時：平成22年2月17日（水） 午後3時00分～5時00分

◇ 会場：市役所3階第2会議室

◇ 出席者：

- ・ 国立市中小企業等振興会議委員 13名 欠席 2名
- ・ 事務局 3名

◇ 配布資料

資料1 第3回中小企業等振興会議録

資料2（仮）中小企業等振興施策一覧表（加筆、訂正後）

資料3 visite!(ビジテ)国立 地域振興タイムス 第7号（地域振興担当より）

資料4 多摩テクノプラザ（平成22年2月開設案内チラシ）

資料5 多摩テクノプラザ開設記事（日経新聞 H.22.1.22）

資料6 平成22年度予算関係資料

◇ 要点記録

- ・ 課長 第4回中小企業等振興会議の開催について
- ・ 会長 あいさつ
- ・ 事務局 配布物の確認
- ・ 会長 本日の議題の進め方について説明
  - 市からの資料に基づく説明
  - 質疑応答

会長： まず、マップ（中小企業等施策一覧表）についての意見を募りたいと思います。

委員： マップの中に、コミュニティ・ビジネスという項目を一つ設けた方が良いと思います。

コミュニティ・ビジネスとは、地域の困りごとや課題を、その地域の人材やノウハウ、施設や資金など多様な資源を活かしながら、「ビジネス」の手法で取り組み解決していくスタイルです。経済産業省がコミュニティ・ビジネスの育成に力を入れ、各市町村に中間支援組織を作ろうとしており、三鷹・小平・立川等では先行して取り組みが始まっています。先日開催された多摩コミュニティ・ビジネスシンポジウムには、国立からもKF（くにたち富士見台人間環境ステーション）のCaféここたのが参加し発表していましたが、とても良い発表で注目を集めていました。まちの活性化の視点でコミュニティ・ビジネスは重要だと思います。

会長： マップ上のどこに入るかをすぐには言えませんが、見直しの中でマップを更新していいのではないのでしょうか。事務局より、残りの資料の説明をお願いします。

事務局： visite 国立についてですが、国立企業探訪というページで市内の企業をPRしています。企業について原稿をいただければご紹介ができますのでぜひご利用ください。国立にはこんな事業所があるんだと周知できればと思います。それから、2月に多摩テクノプラザが西立川にできました。産業機関や分析機関がありますので、是非みなさんで施設見学をしたいと考えています。

予算関係資料はインターネットから得られたものです。その中でも身近なものとして、東京都予算の新・元気だせ！商店街活性化事業があります。また、来年度農業関係では市で新しい事業プランを作るための協議会を設置するのですが、懇話会として多くの方に参加してもらいたいと考えています。

委員：観光まちづくり協会が昨年11月に国立ポータルサイト協議会を立ち上げました。商工会、ロータリークラブ、商工振興(株)等と連携をとりながらスタートしています。いろいろな団体とも連携をとり、市民の利便性も考えながらやっていきます。農業についても発信していきたいので、農家のみなさんにはぜひ協力願いたいと思います。

委員：visite 国立と国立ポータルサイトとのすみ分けは。

事務局：十分な連携をとってやっていきたいと考えています。

会長：作る側は様々であっても、サイトを見る側としてはまとまっているものの方が良いです。行政の情報は安心・信用があり、民間の情報はニーズをつかんでいる。行政と民間の情報は別々になっているが、利用する方は同時に両方見ることができると便利です。その辺をうまくできれば良いと思います。

委員：ポータルサイトにおいても農業は大事と考えているので、農業の委員を推薦してもらいたい。

副会長：現実的な問題に目を向けていくことも必要だと思います。今、どういったことが中小企業振興のために必要で、何をしていくべきか。この会議で施策を提案していくことが大切です。大型店が出ていってしまうことや、店舗の家賃が高いなど。具体的な議論をしていくことを希望します。

会長：それでは、今後この振興会議をどう進めていくかということに入りたいと思います。マップに関することに限定せず、自由な意見も結構です。

私は、現在のような3ヶ月に1回の会議実施では、役割を果たすことができないのではと考えています。その時は問題意識があっても、時間が経つと気持ちの温度が下がってしまいます。そこで、提案になりますが、振興会議の他に作業部会を設け、作業部会ではテーマに沿って少人数で調査し、振興会議で報告又は問題提起してもらおう。そういった二層構造の運営にしてはどうかと。ご意見はありませんか？

副会長：確かにこのまま会議が形骸化するのはいけません。中小企業に反映させていくには、作業部会を作るというのは良いことです。

委員：議題にするテーマは複数あっていい。マップの中から抽出し、その中からできれば。

委員：マップには様々な項目があるので、作業部会も項目ごとに分けることが可能。作業部会で、空き店舗の原因究明を分析してはどうでしょう。

委員：先程、大型店が出ていってしまうことについて発言があったが、個人事業所が活性化するには大型店は無いほうが良いのでは。

副会長：大型店はなるべく出さないようにしたいが、大型店があって競争しながら栄えているという一面もある。清化園跡地利用について大手の会社が撤退してしまうような時代なので、既存の大型店に残ってもらう方法をこの会議でも議論していかないといけないでしょう。

- 委員：清化園跡地について、次の店舗の計画については。
- 事務局：詳しくは visite 国立をご覧ください。
- 委員：昼間、駅周辺を歩いていると、市内でチラシを配っている人が増えてきています。客がいないので、厨房にいる人が外に出ている状況です。町中が沈みつつある印象です。
- 会長：具体的に作業部会をどう作るか。3つか4つの小委員会を作り、その中でテーマを緊急度の高いテーマに決め取組んでいくというのはどうでしょう。
- 委員：緊急性より重要なものからの方がいいのでは。
- 会長：なるほど。では、緊急かつ重要なものが一番ということになりますでしょうか。
- 委員：商店は赤字だから閉め、税金も払えなくなる。経営指導に商工会といってもそんなに職員数はいない。黒字にするにはどうすればいいのか、何をどのようにしてやればまちづくりや商店街が活性化するのか、作業部会では現状を分析して、解決策を検討することが必要。
- 副会長：商工会では無料で経営指導をやっていますが、多摩中小企業振興センターからも指導員、専門家を派遣してもらうことができます。
- 委員：多摩中小企業振興センターは3日くらいなら無料で指導してくれます。それから、多摩テクノプラザに EMC サイトが開設されたことは非常に重要。ヨーロッパに機器を販売するには、厳しい検査基準を満たしていないといけないので、ここで検査ができるのはありがたいことです。EMC サイトでは、電磁波等や音の問題で人体に害があるかを検査してくれます。海外は特に電磁波には厳しい。
- 委員：消費者の立場からいうと、蛍光灯、電子レンジ、洗濯機などは、電磁波が沢山でていて心配です。最近、国立市内でも携帯電話のアンテナ基地局を設置するのに反対がありました。
- 副会長：では、先程おっしゃっていた緊急性と重要性、両方で議論していきましょう。また、ある意味では、この会議に行政から諮問をしてもいいのではと思います。
- 会長：都の予算は市区と比べ余裕があると思いますが、使える補助金があれば使っていきたいと思いますが。
- 事務局：空き店舗などを分析した中で、使える補助金を見つけるという形が良いのではないのでしょうか。それから、皆さんお忙しい中で時間を作っていただいて、言いにくいことですが、作業部会の報酬については厳しい状態です。
- 委員：この会は初めボランティアということでしたが、報酬をいただくことになりました。でするので、作業部会はボランティアでも良いのでは。
- 会長：3つ、4つの小委員会と言いましたが、2つがよろしいのでしょうか。空き店舗、大型店舗関係で「商業・工業」と、国立の「ものづくり」について。ものづくりと安全などテーマに出来るのではないのでしょうか。
- 委員：都の補助金の活用を考える部会もあって良いのでは。小さい店舗はシャッターを閉めているのが現状です。
- 委員：シャッターを閉めている店は何店舗あるのでしょうか。
- 事務局：H21.12月現在で40店舗位が閉まっています。

- 委員： 7割位が赤字店舗です。
- 事務局： 後継者がいないということもあります。実体はその方が多いのではないのでしょうか。
- 委員： 継ぐと親子で赤字になってしまうので後継者がいないのです。
- 委員： 売り上げがあると後継者も育つ。商工会青年部は天下市などで結束しています。
- 副会長： 商店会は26程あるが、他市と比べて空き店舗はそんなに多くない。矢川はさえきがなくなって疲弊したが、国立駅前はそこまでではない。国立駅から離れている坂下は店舗がほとんどなくなってしまったがそこに核があれば、市の土地の活用などで核を作っていくことを考えないといけないと思います。
- 立川では駅前に自転車置き場を設置し、その周辺に集客を図っています。
- 委員： 矢川の商店会はくにたちカードポイント3倍セールなど工夫していると思います。
- 委員： 商工会の国立ポータルサイトについては。
- 委員： ポータルサイト制作にあたってFM立川、ケーブル、地域のFMとの連携を考えたい。
- 委員： ものすごい時代の変わり目がきていて今までの価値観が変わってきていると思います。会議をもっても大変な心がまえをしないとイケない。今すぐ簡単には元気になれない。
- 委員： 都の地域活性化支援について、過去のモデルケースについて教えてください。
- 事務局： 新・元気だせ！イベント・活性化補助金については例年行っていることで、大学通りのイルミネーションや街路灯などについて補助金を毎年出しています。
- 委員： 補助金は公平に出ているものなのではないでしょうか。富士見通りが、旭通りに負けていると感じています。旭通りは絶えずフラッグが変わっています。
- エコの問題ではエコバッグ補助金があるといいですね。
- 委員： 旭通りは収益事業をやっているのだから、収益で潤っている。一店一品運動など店主が積極的に取り組んでいる。
- 副会長： 商店会の会員さんの関わり方や新しい発想が活性を生んでいると思います。
- 委員： やはりテナント収入の方より、外からきた方は活力がある。
- 委員： 脱サラしてやられている方がいて既存概念にとらわれていないことも活性化につながる。
- 会長： 作業部会についてですが、商店会・空き店舗のものづくり安全環境の2つに分けましょうか。次回の振興会議が5月位なので、それまでの間にチームごとに代表世話人を決め、基本的にボランティアで無理のない範囲で行いたいと思います。
- 事務局： できるだけ政策に結び付けていけるように考えています。新規事業として、実施計画に活かしていきたいと思います。
- 委員： **visite** 国立についてまだPRが不足しているので広報にも載せてほしいです。一橋大の学生とも連携を図っていききたい。
- 委員： もっと委員の皆さんとも交流の場を広げていききたいです。
- 事務局： 最後になってしまいましたが、佐藤さんの㈱日本アプライドテクノロジーが多摩ブルーグリーン賞で奨励賞を受賞しました。多摩ブルーグリーン賞は地域で活躍する中小企業の方々の優れた技術や経営手腕を評価し表彰する賞です。
- 会長： それでは、時間になりましたので、今日はこれで終わりにしたいと思います。次回は5月ということになります。